

公明党
名護市議会議員

金城 ヨシヒデ



▲ 金城ヨシヒデのホームページ

プロフィール

- 昭和34年(1959年)生まれ
- 小禄高校(13期)、県立農業大学(1期)卒業
- 米国ビッグベンド・コミュニティカレッジ 研究課程修了、応用科学准学士
- 名護市議5期、議会運営委員会副委員長
- 民生教育委員、軍事基地等対策特別委員、北部基幹病院等建設推進特別委員
- 名護高校PTA会長(平成28年~平成30年)
- 家族は妻と2女1男

実績ヨシ!
まかせてヨシ!
誠実のヨシヒデ

ヨシヒデの実績

- 子育て3つの無償化(県内で名護市だけ)
 - ① 学校給食費の完全無償化
 - ② 幼児教育・保育の無償化
 - ③ 高校3年生までの医療費無償化
- 「県立名護高等学校附属 桜中学校」の設立を推進
- 超高速光回線 未整備地域の解消
- 返還不要の名護市独自の給付型奨学金(最大月5万円)の創設
- 小・中学校の吹奏楽部等の楽器整備と 県外派遣時の楽器輸送費の助成

ヨシヒデの政策

- 公立沖縄北部医療センター(北部基幹病院)の早期整備
- 新しい廃棄物処理場の建設 → ゴミ分別を簡素化(2024年度供用開始を目指す)
- 市葬斎場の早期建て替え(2026年度建設予定)
- コミュニティバスの導入で交通弱者や高齢者のバス賃を無料化
- 給食センターの早期整備
- 食と農水産業を支える大型冷凍冷蔵施設の早期整備
- 21世紀の森公園周辺エリアへ、インクルーシブ(体の障がいの有無に関わらず遊べる)遊具含む大型遊具の設置

皆様の声を受けて公明党が実現しました

◆ 不妊治療の保険適用

〈以前から適用〉 〈本年4月から新たに適用〉

原因の検査

人工授精

体外授精

治療

・ 排卵障害
・ 精管閉塞など

顕微授精

※ 女性の年齢が43歳未満、
最大で6回までの制限あり

- ◎ 自己負担が原則3割に
- ◎ 男性は年齢制限なし
- ◎ これまでの助成金の支給回数に関係なく適用 など

◆ 白内障手術の保険適用

本来、両目で約30万円かかる
眼内レンズ挿入手術の費用



保険適用で負担が大幅に軽減され
今では年間150万件の手術を実施



公明党は1992年2月に政府から保険適用の方針を引き出し、同年4月に実現。それから30年、今では年間約150万件の手術が行われ、広く普及しています。

さらに近年ニーズが高まっている「多焦点レンズ」も、2020年4月から手術費用の一部に保険適用が実現しました。

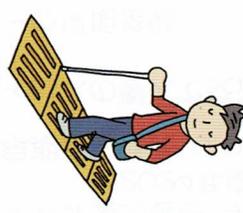
県 国 市町村
 今の「あたりまえ」も昔は誰かの「願い」だった
 公明のネットワーク力で実現することができました



1969年
 教科書無償配布



1972年
 児童手当制度



1974年
 点字ブロック



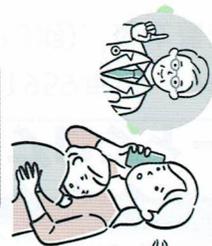
1992年
 白内障手術 保険適用



1998年
 さい帯血移植 保険適用



1999年
 奨学金制度拡充



2003年
 小児救急電話 #8000



2006年

がん対策基本法
 (検査・治療法の拡充)



2006年

携帯番号ポータビリティ
 (番号が変わらずに機種変更や
 他社への乗り換えが可能に)



2009年

出産育児一時金
 42万円へ増額



2010年

妊婦検診 公費助成



2013年

ストーカー
 規制法改正
 DV防止法改正



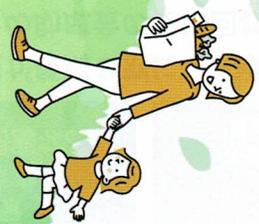
2013年

ピロリ菌除菌
 保険適用



2015年

高額医療費改善



2019年

軽減税率導入



2019年

幼児教育・保育の
 無償化



2022年

不妊治療の
 保険適用

沖縄の「あたりまえ」もつくってきました



2008年

認可外保育園
 給食費を支援



2008年

沖縄に
 ドクターヘリ導入



2012年

離島の航空運賃
 船賃を助成



2018年

高校生らの
 パス通学費助成



2022年

子ども医療費無償化
 中学3年まで拡充